

自閉症総合援助センター 萌葱の郷

ASSIST



～芽吹く未来へ～



◆社会福祉法人 萌葱の郷 「障害者支援施設 めぶき園」

自閉症は、脳の働きに障がいがあるため、周囲の状況を正しく理解することができにくく、場面や状況に合う言動や会話などといったコミュニケーションに障がいが生じます。また、心の理論の発達にも遅れが伴うため、人との共感的な関係や社会性を身につけていくことが困難です。さらに、活動や物へのこだわりや感覚過敏を持ちやすいため、環境の変化や予定の変更などに強い不安や抵抗を抱えてしまい、社会生活をおくる上で様々な障がいが生じます。

そこで、大分県自閉症児親の会と理事長（五十嵐康郎）が手を結び、犬飼町をはじめ、国や大分県の関係官庁の深いご理解とご協力を得ながら、社会福祉法人 萌葱の郷を設立し、県下初の自閉症者施設「めぶき園」を開設しました。

2013.1.1 発行
VOL.3



新年を迎えて



理事長 五十嵐 康郎

(全国自閉症者施設協議会会長・日本自閉症協会副会長)

新年を迎えるにあたりまして、平素より当法人事業運営に対し、格別のご理解とご支援をいただいておりますことに対し、厚く御礼申し上げます。

さて、新しい年を迎えましたが、日本は、巨額の財政赤字、震災、原発事故、領土問題、基地問題と様々な困難に直面しています。本年はこれらの国難が解決に向けて前進し、明るい未来が開けることを祈念し、新年のご祝詞を申し上げます。

総合福祉部会の委員や訴訟原告団から厳しい批判がありましたが、昨年6月に障害者総合支援法が成立し、本年4月には一部を除いて施行の予定です。障害者総合支援法は、利用者負担の無償化や障害支援区分、意志決定支援など多くの課題を残していますが、一歩前進したことは事実です。

昨年は、豊後大野市から「いぬかい保育園」の運営を引き継ぐとともに、「めぶき園」の全居室個室化を実現するなど、一昨年の創立20周年記念行事に引き続いて大きな事業に取り組みました。また、かねてより大分市在住の保護者の皆様から大分市内に早期療育の場を開設してほしいとのご要望が多数寄せられていましたが、大分市大字丹生の用地を購入し、「大分なごみ園」(児童発達支援事業)の新築工事に着手し、本年4月開園の予定です。

「いぬかい保育園」は職員の大半を引き継ぐとともに、新たに他の市立保育園の職員も迎えて、順調なスタートを切ることができました。職員一同、保育内容の一層の充実を図るべく、精一杯、取り組む所存ですので、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

ごくあたり前の暮らしを実現するという理念から、めぶき園の全居室個室化は大きな課題でしたが、既存の建物を改修するという制約の中、建設会社の協力を得て、当初の予想以上の結果が得られ、これまで以上に利用者の皆様が落ち着いて生活できる環境が整いました。

自閉症状や行動障害等により、在宅生活や通常の知的障害施設での支援が困難なことから、めぶき園入所を希望する待機者が多数おられます。本年度中に、障害特性に配慮した住空間を整備し、スーパーバイザーを配置し、専門性の高い職員による手厚い支援体制とプログラムによって、3年を目途に通常の入所施設やケアホームへ移行する取り組みを開始し、より多くの方が穏やかに普通に暮らすためのノウハウを開発し、普及したいと考えています。

さらにグループホーム、ケアホームを整備して、地域での暮らしを実現すると共に、一般就労や一般就労並の工賃を実現することで自立した生活を支援したいと考えています。

当法人の理念に「自閉症総合援助センターとして、生活支援・発達支援・早期療育・就労支援・余暇支援・普及啓発・専門系養成等のサービスメニューを総合的に提供し、自閉症を中心とする発達障害のある人たちの豊かな育ちと暮らしを実現します」との目的を掲げていますが、実現には優秀な人材の確保と人材育成が最も重要な課題です。職員総数が100名を超えたことから、新規卒業者の定期採用、さらに計画的な職員研修の実施や人事考課制度の導入により、将来の事業を担う人材育成に努めて参ります。

障害者自立支援法施行以降、障害福祉予算は増え続けてきましたが、国の財政が危機的な状況にあり、今後は厳しい局面も予想されます。どのような状況においても、自閉症を中心とする発達障害の方々を地域で豊かに育ちごくあたり前に暮らせる社会の実現に邁進したいと考えています。

平成24年度発達障害者支援者実地研修事業（厚生労働省委託事業）

このたび厚生労働省の委託を受け、平成24年度発達障害者支援者実地研修（強度行動障害）を実施することとなり、その第1回目（平成24年12月3日～21日）が先日終了いたしました。

本研修は、地域移行支援、関係機関との連携、個別援助技術や環境調整、福祉サービスの利用や組み合わせ等について、強度行動障害や行為障害に数多く携わってきた当法人における実践を軸にしながら、二次障害の予防や支援方法を学び、自閉症者が地域生活を送るためのケアマネジメント力を高めことを目標としております。

障害者入所施設めぶき園の日中・夜間の対応、ホームヘルプサービスセンターらすかるや、こども発達支援センターなごみ園における児童への対応から療育実践を学び、講義や事例検討で理解を深めていただき、当法人が「自閉症総合援助センター（※）」として24時間体制で運営しているサービスメニューのすべてを視察していただくとともに、医療や教育、保護者会といった関係機関との連携について総合的に学んでいただけます。

本研修を修了された方には「自閉症総合援助マネジャー」の認定証を発行し、自閉症者の地域生活をマネジメントする専門家として認定いたします。

尚、第2回目は平成25年1月7日～26日に実施いたします。

※生活支援・発達支援・早期療育・就労支援・余暇支援・相談支援・普及啓発・専門家養成等のサービスメニューを総合的に提供し、自閉症を中心とする発達障がいにある人たちの豊かな育ちと暮らしを目指す社会福祉施設

<研修プログラム>

●基礎研修（講義）

- ①自閉症・発達障害者支援の理念と自閉症総合援助センターの役割（理事長）
- ②自閉症・発達障害の理解について（ECOALセンター長）
- ③自閉症・発達障害の支援環境について（めぶき園支援課長）
- ④自閉症・発達障害児の早期療育について（なごみ園支援係長）
- ⑤自閉症・発達障害児の地域生活支援（らすかる支援課長）
- ⑥自閉症・発達障害者の就労について（ECOAL支援課長）
- ⑦自閉症・発達障害者の地域生活支援について（めぶき園事務局長）
- ⑧大分県発達障がい支援ネットワークの取り組み（ECOALセンター長）
- ⑨保護者会への支援（大分県自閉症協会 会長）
- ⑩当事者会への支援（ECOAL成人の会）
- ⑪強度行動障害と医療（博愛病院 院長）
- ⑫強度行動障害を持つ利用者への取り組み（大分県発達障がい者支援専門員の会 会長）
- ⑬強度行動障害を持つ児童への対応（大分県教育庁特別支援教育課指導主事兼主幹（総括））

●臨床実習

- ①障害者支援施設めぶき園の日中現場見学・支援、夜間対応
- ②こども発達支援センターなごみ園の見学・支援
- ③ホームヘルプサービスセンターらすかる
- ④就労支援施設どんこの里いぬかい
- ⑤ケアホームかわしま
- ⑥相談支援事業 ECOAL
- ⑦医療機関視察（博愛病院）

●事例検討

- ①強度行動障害の対応（ショートステイでの対応）（めぶき園支援課長）
- ②強度行動障害の対応（ホームヘルプでの対応）（らすかる支援課長）
- ③行為障害の対応（教育との連携）（なごみ園支援係長）
- ④行為障害の対応（医療との連携）（ECOALセンター長）
- ⑤行為障害の対応（就労機関との連携）（イコール支援係長）

支援して思うこと

ホームヘルプサービスセンター らすかる

支援課長 福田 和彦

私は、利用者にとって常に「安心できる存在でありたい」をモットーにしています。なぜなら自閉症の方は、相手の表情や言葉、周囲の刺激（音や声など）に敏感だったり、コミュニケーションが苦手だったりして不安な気持ちを持っている方が多く、側にいる人を頼りにしているからです。だから、側にいる私たちが「大丈夫だよ。」や「あなたのことを見ていますよ。」など安心して寄り添い方（雰囲気）が求められると思います。

私も、こちらが困惑や不安な雰囲気だと、利用者も不安になると思いますが、その利用者の行動特徴や心理状態を把握し、「そっだよね。」や「すごいね。」など共感や肯定的な姿勢で気持ちに寄り添い、いかに安心してその人との時間や空間、つまり雰囲気を楽しむことができるかが大切だと思います。例えば、利用者が何をしたらよいか分からなかったり、忘れてしまったりした時には、絵カードや文字などその利用者にとって視覚支援をすることで、お互い良好な関係が構築されます。

また、とことんその利用者につき合うこともいいと思います。とことん付き合う肯定的な行動の中から私たちも何かに気づき、利用者との距離を縮めます。私も以前、通りの多い道路に寝転ぶことが好きな利用者に対して、一緒に寝転ぶことをすると、その後、私の方を意識してくれるようになり、こちらの声かけで道路に寝転ぶことはなくなりました。利用者の強みや弱みを見極める目も大事です。私たちは、問題となる行動（弱み）にはすぐ気づきますが、その利用者のできることをやいところ（強み）にも注目することを忘れてがちです。実は、その強みの中に弱みをカバーすることが隠されていることもあります。

私たちは、利用者によっていろいろな刺激にさらされながらも一生懸命生きていく利用者の方々に敬意と感謝の念を忘れず、これからも雰囲気や大事に、利用者にとって安心できる支援者として支援をさせていただきます。



☆ 運営理念 ☆

めぶき園利用者の生きがいと豊かな生活を保障し、自立と社会参加を実現するために、生活・労働・余暇等に関する専門的な支援を提供し、もってめぶき園利用者の福祉の向上を図ることを目的とする。



<めぶき園正面玄関>

☆ 運営方針 ☆

- ① 利用者の人権と主体性を尊重し、豊かな人生と自己実現をめざします。
- ② ご本人やご家族のご意見・ご要望を尊重し、個別プログラムをたてます。
- ③ 安心感と信頼関係に基づき、チームワークによる一貫した支援を行います。
- ④ プロとしての自覚に基づいて、専門性と援助技術の向上をめざします。
- ⑤ 地域や社会との交流を深め、社会参加を図り、開かれた運営をめざします。

☆ 定員 ☆

- ・生活介護 40名
- ・就労継続支援B型 10名
- ・施設入所支援 30名
- ・短期入所支援 若干名



利用者の皆さんが、より充実した生活が送れるよう、平成24年9月より全居室個室化を実現しました!!

一日課

- 7:00 起床・検温
- 8:00 朝食
- 9:00 職員ミーティング
園内清掃・身だしなみ
- 10:30 生産活動
- 12:00 昼食・休憩
- 13:30 月／リズム活動
火／療育活動
水／サークル活動
木／クラブ活動
金／生産活動
- 15:30 ランニング・おやつ
- 16:00 入浴
- 18:00 夕食
- 19:30 余暇活動
- 22:00 就床



★★★めぶき園年間行事★★★

4月	お花見会
5月	ゆうあいスポーツ大会
6月	めぶき園大運動会
7月	クラブレクリエーション
8月	サークルレクリエーション
9月	全体一泊旅行
10月	ハイキングレクリエーション
11月	グループレクリエーション
12月	忘年会
1月	新年会
2月	各課レクリエーション
3月	合同レクリエーション



<平成24年9月 全体一泊旅行>

めぶき園では利用者全員が、活動を選択して参加することができます。

感動の音色

『ときめき音楽祭』



平成 24 年 12 月 6 日 (木)、大分県『障がい者週間』福祉大会豊肥地区大会が豊後大野市のエイトピアおおのにて開催されました。

当日は多くの人々が来場し、ミュージックベルの演奏を聴いてもらうことができました。大勢の前での発表は久しぶりで、利用者もサポートにつく職員もとても緊張していましたが、「翼をください」「川の流れるように」「千の風になって」「すばる」の4曲を無事に演奏することができました。演奏を聴いた人達からは「感動した!」「眩しかった!」等とお褒めの言葉と多くの拍手をいただき、大変嬉しく思います。出演した利用者の皆さん、お疲れ様でした。今後も素敵な演奏ができるように練習を頑張りましょう。



☆ 活動内容 ☆

☆ 生産活動 ☆

- 農園芸課 …… 無農薬野菜の栽培・販売
- 陶芸課 …… 手作り陶器の製作・販売
- 手工芸課 …… 織物の製作・販売
- リサイクル課 …… アルミ缶つぶし
- 施設内実習課 …… 園内の環境整備
利用者の洗濯・乾燥・仕分け
- 外勤課 …… 地域の一般企業での職場実習



陶芸課の陶器
手工芸課の織物



無農薬野菜の
栽培風景

☆ リズム活動 ☆

- 太鼓 …… 和太鼓を使っての演奏練習
- ハンドベル …… ミュージックベルを使っての演奏練習
- 合奏 …… 楽器を使ってのリズム活動
- 散歩 …… 湖畔や公園の遊歩道を散歩

利用者たちが作った野菜や陶器、織物は、どんこの里や委託販売先で販売しています♪

☆ グループ別療育活動 ☆

- ソフトボールチーム …… キャッチボールを中心に投げ方や打ち方の練習
- ストレッチチーム …… 10分間走、ウォーキング、ストレッチ及びリラクゼーション

☆ サークル活動 ☆

- ダンス …… 曲に合わせての創作ダンス
- お菓子作り …… 季節に合わせたおやつ作り
- 散歩 …… 湖畔や公園の遊歩道を散歩



< 7 kmを走るスポーツクラブ >

☆ クラブ活動 ☆

- スポーツ …… 長距離走、登山、マラソン大会への出場
- 美術 …… モザイクタイルを使っての貼り
絵や絵画の制作
- 音楽 …… 合唱、リズムやダンス
- 散歩 …… 湖畔や公園の遊歩道を散歩



< 余暇活動のカラオケ >



☆ 余暇活動 ☆

夜間に、カラオケ、音楽鑑賞、ビデオ鑑賞、学習



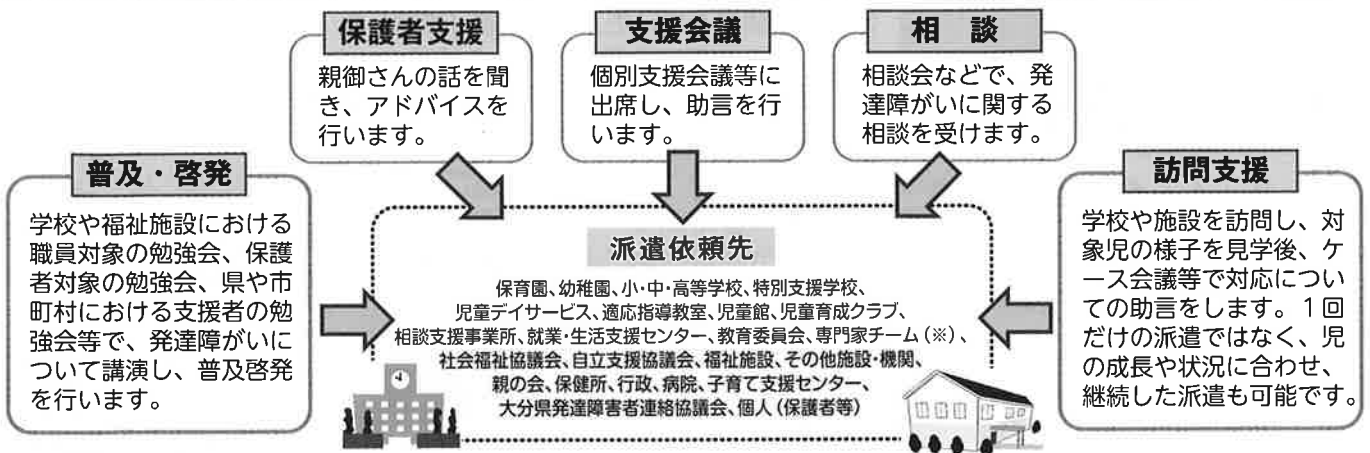
Pick Up!

発達障がい者支援専門員

SV 派遣特集

大分県発達障がい者支援専門員派遣は平成21年度より県の単独事業として開始されました。今年度は「大分県発達障がい児等心のネットワーク推進事業（こどもの心の訪問支援事業）」として行われ、9月より厚生労働省の委託事業（発達障害者支援施行事業）として採択されました。発達障がい者支援専門員（スーパーバイザー。以下「SV」）派遣の対象児は18歳未満です。発達の面で気になる児童の支援を目的に派遣されています（発達障がいの診断の有無は問いません）。

SV派遣に対し、どのようなニーズがあるのか、どのような形で派遣されているのかをご紹介します。



平成23年度 派遣実績197件

福祉施設	10	就業生活支援センター	2
保育所	11	相談支援事業所	9
幼稚園	5	親の会	50
小中学校	47	子育て支援センター	6
教育委員会	2	行政	2
児童デイ	8	社会福祉協議会	1
児童クラブ	8	自立支援協議会	7
		その他	29

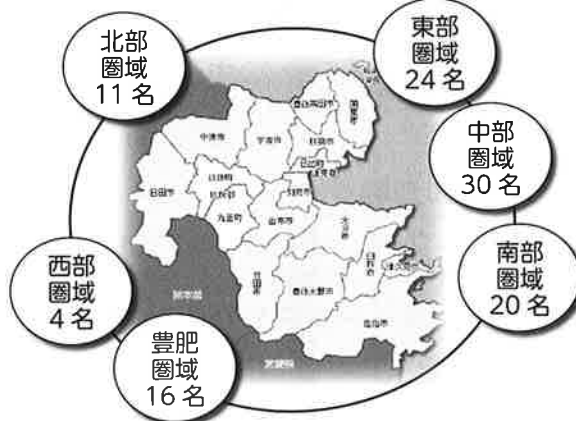
平成24年度 派遣実績131件 (平成24年12月現在)

福祉施設	3	就業生活支援センター	0	健診・発達相談会	6
保育所	9	相談支援事業所	1	個人（保護者等）	4
幼稚園	4	親の会	31	特別支援学校	3
小中学校	25	子育て支援センター	1	その他	26
教育委員会	1	行政	10		
児童デイ	0	社会福祉協議会	0		
児童クラブ	6	自立支援協議会	1		

SV分布図

平成21年度 17名(1期生)
平成22年度 29名(2期生)
平成23年度 33名(3期生)
平成24年度 26名(4期生)

合計 105名
(平成24年12月現在)



※SVの所属先の移動等によって圏域別の人数に変動がございます。



★こちらのチラシは、ECOALのHPからもダウンロードできます。
→ <http://www.ecoal.info/index.php?blogid=9>

大分県発達障がい者支援専門員

(以下SV)とは、医療・保健・福祉・教育・労働の各分野において、発達障がい児・者のライフステージを見通した相談や支援を行う専門家です。発達障がいへの理解の促進と、県内の各地域における専門的な人材育成を目的に、県や市町村、各関係機関によって構成される「大分県発達障がい者支援センター連絡協議会」が主体となり、大分県発達障がい者支援センターECOALを事務局として、SVの養成と派遣を実施しています。

連絡協議会が主催する「発達障がい者支援専門員養成研修」の初級（6講義・3機関視察研修）・中級（4講義・5日間の実務研修）・上級（事例検討会、研修会、保護者会への参加）の全課程を3年間かけて修了し、連絡協議会の審査を通過した方々がSVとして認定されます。現在4期生までが修了しており、105名のSVが各分野で活躍しています。主に、福祉施設や保育園・幼稚園、小・中・高等学校、特別支援学校などの個別支援会議、市町村単位での相談会、親の会や各種勉強会での助言、市町村の自立支援協議会との連携のために派遣されます。



SV バッジ

※「専門家チーム」・・・障害の有無の判断、望ましい教育的対応について、専門的な意見等を各学校に提示し、支援するために設置された組織。教育委員会の職員、教員、心理学の専門家、医師等から構成される。

conversation with 原田事業部長

A: 福祉の道に進んだきっかけは？

原: 僕が高校を出て初めに働いたところは、水晶米の大分県特約店だったんですけど、平成7年に旧食糧管理法が廃止、新食糧法というのが施行されて、それで日本全国の米穀業界を取り巻く環境が非常に厳しくなって…。今はもう米屋さんとかほとんどないですよ？ 20年前までは米屋さんっていっぱいあったと思うんですけど。それで米穀業界を取り巻く環境は、大分と熊本と鹿児島と宮崎の南九州4県で、別会社を作ろうということになって、別会社を作ったら残って言われたんですけど、残りませんでした。もうやっぱり、米の業界って厳しくて…今現在もね。そういうところで、たまたまお米の業界にいて、僕は仕入れを主にやってたから、県の農政部とか大分県経済連とかと付き合いがあって、たまたま合同新聞の一面に、「水晶米ブランド、大分から消える」って出たんですよ。そんな記事が出たもんだから、「どげえするんか」ってみんなに心配されてね。その時に、たまたま別府にある身体障害者通所授産施設で、今でもあるんですけど、その理事長と一緒に仕事をしてた仲間の中に、「考える時間が数ヶ月あるけど、来年の4月からうちに来ないか」って言われたんです。初めは「いや、福祉なんか全然ダメだよ」って思ってたんですけど、2月、3月になったら切羽詰まってきて、それでそこ（別府の授産施設）に入職しました。そこに4年と3ヶ月間勤務して、平成14年の7月1日からめぶぎ園に来ました。

A: めぶぎ園に来た経緯は？

原: 大分県福祉人材センターに、事務員で福祉の登録をしたんですよ。それから半年くらい経って、たまたま、「事務員が出たよ」って電話があって、電話があったのは4月の中旬くらいかな。それで、すぐ登録して、めぶぎ園の採用試験を受けました。

A: 初めての福祉の世界でとまどったことは？

原: もう全部にとまどいましたよ。事務のほうで入ったんですけど、今までは営業ばかりでずっと来てたから、相当苦労しました。何もわからなかったから。でも、事務ってわからなくても、各行政とか、関係機関に行けば丁寧に教えてくれるから、いろんなところに聞きに行って、独学で勉強しました。

A: 事務も初めて？

原: 簡単にパソコンを打ったりはしてたけど、事務というか、普通の事務員の事務じゃなくて、営業の事務ですよ。納品書や請求書、あとは販促（販売促進）物を作ったり。



話し手: 原田 竜二 (=原)
聞き手: A

A: 仕事をするうえで大切にされていることは？

原: 誠心誠意と全力投球です。全力投球って言うのは、僕は常に一生懸命なんですよ。中途半端が嫌だから。野球をやっているの、常に全力投球です。

A: 働くうえで意識してほしいと思うことは？

原: 基本的に社会人というか、人間みんなそうだけど、苦労と楽だと、楽なほうがいいですよ。米屋の時も別府の授産施設の時もずっと言われてたんですけど、「よく真面目に頑張るなあ」って。そう言われるけど、僕は全然飛びぬけてやった覚えはありません。当たり前のことを当たり前にやってるだけなんですけど、どうして目立つのか。それは、当たり前のことをしない人が多いから、当たり前のことでもしない人が多いから、当たり前のことをしてたら目立つんですよ。だから、与えられたことを当たり前のように、普通のことを普通のように、気配りとか心遣いとかちょっとした努力は必要かもしれないけど、それをプラスするだけで、本当に当たり前のことをやるだけで「頑張ってるなあ」って思われるようになってるんじゃないかなと思います。それから、人間、ハートだと思いますよ。ひとつのものを渡すのにも、心をこめて渡すのとそうでないのとじゃ、相手の受け取り方も全然違いますしね。ひとつの行動をするのにも、全部その人のハートがついてくるって思いながら僕は行動しています。さりげない一言一言、身振り手振りができれば、なおいんじゃないですかね。

原: 最後に、僕が働いている「どんこの里いぬかい」の紹介をさせていただきます。レストランでは、名物「ECOランチ」が大人気です。また、本場名古屋から取り寄せた八丁味噌を贅沢に使用した「味噌かつ丼」や、こだわりの自家製麺を使用したうどんなど、ワンコインランチをお楽しみいただけます。隣の直販所では、地域で採れた新鮮な旬の野菜や加工品、米水津産の干物、障がい者の手作り雑貨などが並んでおり、選りすぐりの品々の中からお買い物を楽しめます。ぜひ皆様のお越しを職員、利用者共々心よりお待ちしております。

A: ありがとうございました。





障害者支援施設 めぶき園(法人本部)
 大分県豊後大野市犬飼町下津尾4355-10
 TEL097-578-0818
 FAX097-578-0819
 mebukien@moeginosato.net

ホームヘルプサービスセンター らすかる
 大分県豊後大野市犬飼町下津尾4355-10
 TEL097-578-1888
 FAX097-578-0819
 rasukaru@moeginosato.net



就労支援施設 どんこの里いぬかい
 大分県豊後大野市犬飼町久原1863番地8
 TEL097-578-0077
 FAX097-578-1226
 donko@moeginosato.net



こども発達支援センター なごみ園
 大分県豊後大野市犬飼町大寒2149番地1
 TEL097-586-8070
 FAX097-586-8071
 nagomi@moeginosato.net

**萌葱の郷
ロードマップ**



いぬかい保育園(いぬかい子育て支援センター)
 大分県豊後大野市犬飼町田原1419番地
 TEL097-578-0706
 FAX097-578-0710
 inukai-hoikuen@moeginosato.net



ケアホームかわしま
 大分県豊後大野市犬飼町下津尾3709-8
 TEL097-578-0885



大分県発達障がい者支援センター ECOAL
 大分県豊後大野市犬飼町久原1863番地8
 TEL097-586-8080
 FAX097-586-8181
 ecoal@moeginosato.net

編集後記

あけましておめでと〜ございませう。今年もよろしくお願ひします。
 広報誌「Passi」もVOL. 3 になりました。当初は記事の内容や表紙のデザインから委員会の仲間で話し合い悩み作りあげていきました。段々と枚数が増えていくと、感動するものです!! 広報誌を読んだ人から、「この記事おもしろいな〜!」など感想を言っていたら、本当にうれしく思います。皆さんに楽しみにしていただけるような、広報誌作りをこれからも、試行錯誤しながら作りあげていきたいと思います。



◆協力者御芳名

《物品の部》
 加藤 友栄様・河野 京次様・橋本 謙二様
 阿部 和樹様
 《現金の部》
 時枝 幸子様・伊美 信長様・秦 正也様
 (順不同)

(順不同、平成二十四年十一月現在)
 西原 廣紀様・西原 加代子様・松田 邦博様
 松田 浩子様・阿南 吉充様・岡本 保博様
 岡本 崇様・足立 義信様・矢野 丞様
 佐藤 テル子様・上杉 哲夫様・徳丸 展子様
 安東 幸一様・武井 清展様・川久保 九州男様
 河野 京次様・麻生 なつみ様・薬師 神孝次様
 秦 鉄也様・岩崎 英一郎様・堀 修一様
 河野 勝征様・村上一文様・下川 禎子様
 高橋 勝己様・山田 政之様・大多和 佳子様
 塩野 續様・山田 直記様・堀 美佐子様
 遠藤 三枝子様・花宮 憲央様・濱内 優誠様
 姫野 陽子様・衛藤 成治様・柿坂 重治様
 柿坂 典子様・後藤 豊春様・山本 五十六様
 田北 晃明様・坂本 アキ様・坂本 恵子様
 薬師 寺愛子様・薬師 寺訓子様・薬師 寺幸子様
 野田 フサ子様・姫野 元春様・椎原 修様
 佐々木 信彰様・仲間 克之様・仲間 正子様
 仲間 俊行様・斉藤 友子様・仲間 宏之様
 大分県自閉症協会様

◆平成二十四年度 めぶき園後援会名簿